

No. 12-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 3

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		28年 5月 23日		
事務事業名		農産物加工処理センター経費事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課		係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる						シート作成者				
	施策	5-1-1 農業の振興						予算費目	会計		一般	
		③ 地域特産物の開発							款		6	
主要施策							項		1			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				農産物の加工を通じて、消費拡大及び地産地消の拡大を進めます。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		町の広報誌及びケーブルテレビ、行政メールを通じて、「自家用みそづくり講習会」の実践を行うことにより、施設利用促進及び地域への普及啓発を図ります。また、食と農を両立する「食農推進事業」の取り組みも併せて、施設利用の充実並びに地産地消の拡大を図ります。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町農産物加工処理センター利用管理規則										
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		380		452		502						
財源内訳	国庫支出金		0		0		0					
	県支出金		0		0		0					
	地方債		0		0		0					
	その他特定財源		0		0		0					
	一般財源		182		188		238					
直接事業費（千円）A		182		188		238						
人件費（千円）B		198		264		264						
内訳	一般職員（人・千円）		0.03 人 198		0.04 人 264		0.04 人 264					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名			単位	27年度		28年度	29年度				
					目標	実績	（目標）	（目標）				
	①	講習会参加人数（自家用みそづくり）		人	30	25	30	30				
	②											
③												
説明	募集定員数を指標としています。 施設の利用促進及び地域への普及啓発等を含め、事業展開に努めます。											

事業名		農産物加工処理センター経費事務			シート作成課		産業課		
一次評価者		産業課長			二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設を有効に利用することにより、町内産農産物の消費拡大等の啓発活動に貢献しています。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		施設を利用しての事業開催については、参加者から高い評価を得ています。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		食農推進事業が加わり、利用頻度は向上しています。今後も施設の有効利用に努めます。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		施設の利用頻度は向上しています。
本事務事業の実施適切性の説明									
農産物の消費拡大には有効な施設ではありますが、施設規模等から少数数での事業に限定されることが課題であります。事業推進としては、農産物の消費拡大及び加工実習の普及を図るため、「自家用みそづくり講習会」の開催をはじめ、食と農を両立する「食農推進事業」の取り組みを行い、地産地消の拡大を図っています。									
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) (6) D	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
今後の改革・改善目標	施設を有効に活用するために、毎年開催する「自家用みそづくり講習会」に加え、食と農を両立する「食農推進事業」の取り組みを実施しています。今後は、当該施設の本来の目的である農業者自らが農産物の加工を通じて、商品化への開発・研究及び付加価値の高い農産物の生産振興を図り、農業生産者の経営安定も併せて図る必要があります。								
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) (6) D	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
コメント	本来あるべき施設のあり方として、安全・安心な農産物加工品を生み出す場として幅広く活用されることが重要です。今後は、地元生産者の確保や地域農業の維持・発展など、地産地消の効果を上げる施策を構築し、実践する必要があります。								
二次評価に対する課の考え方									
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	4 住民（利用者）も運営等に参画していく					